

新屋表町通り まちなみ景観

ワークショップ1

第5課題「かかわる」発表

秋田公立美術工芸短期大学

環境デザインコース

課題の内容

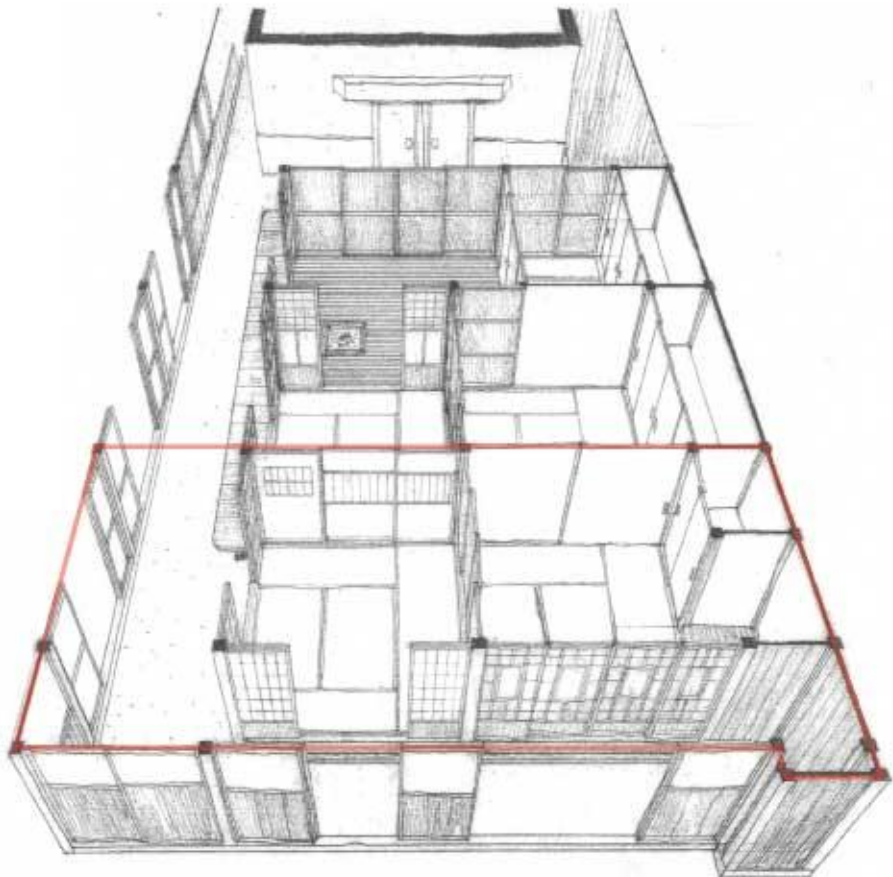
秋田市新屋表町通り、秋田市西部公民館にほど近い町家（ひろ建築工房）がこの課題の対象建物である。

この町家の道路側未使用空間（別紙参照）への有効利用の提案を求める。利用形態に対する制限は設けない。自由な発想で提案を作成して欲しい。

ただし、提案のリアリティと効果・意義を考慮し、新屋表町通り全体のまちづくりにつながる提案とすること。

現存する町家という建築物とかかわり…掃除・提案・発表という行為を通して地域の人々と「かかわる」ことを意識してのぞんで欲しい。





ひろ建築工房パス (資料提供渡邊浩昭氏)

スケジュール



- 0922 (午前) 掃除
 - ・町家とはどのような建築なのか？掃除を通して感じ取る
 - ・体を動かしながらイメージを膨らませる
 - ・施主にヒアリングする
 - ・建物周辺の状況を把握する
- 0922 (午後) 現地調査
 - ・自分の計画を提案するために必要な寸法を採寸
 - ・図面及び模型作成に必要な寸法を採寸
 - ・以降、計画概要（A3書式自由）作成
- 0925 計画概要提出
- 0928 エスキースチェック（研究室にて個別対応）
 - ・計画概要チェック
 - ・即日作業
 - ・再チェック
- 1005 作業出来高のチェック（研究室にて個別対応）
 - ・図面のチェック
 - ・ラフ模型のチェック
 - ・プレゼンボードのチェック
- 1012 プレゼンテーション
 - ・会場は当該町家（予定）

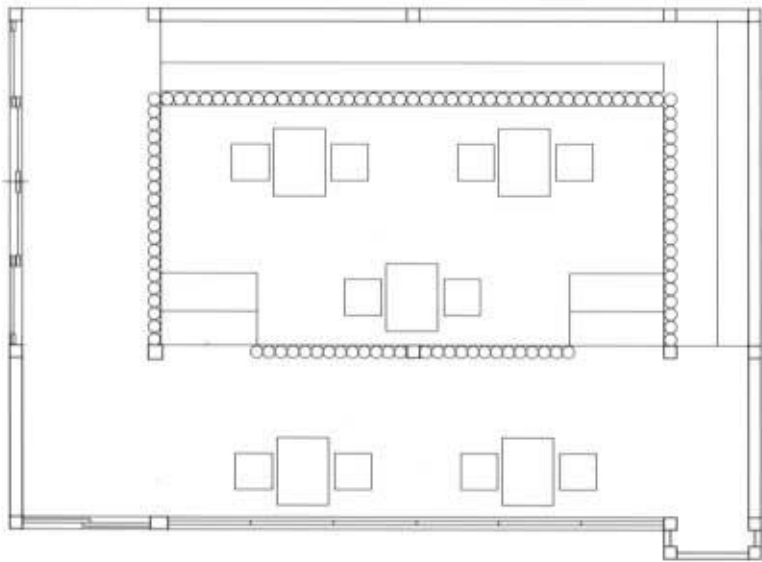
※優秀作は新屋まちづくりワークショップにてプレゼンテーションを行う。（実施日未定）

第5課題「かかわる」

発表者

秋田公立美術工芸短期大学 環境デザインコース

石川佳恵



平面图 S=1/50



第5課題「かかわる」

発表者

秋田公立美術工芸短期大学 環境デザインコース

佐藤友美

学生のために

美短生は他県出身者が多くほとんどの学生が学校の近くに一人暮らしをしている。

また、パソコンを持っている学生は少なく、持っていたとしてもアパートではインターネットをつなぎにくいことがある。

授業で出される課題はパソコンを使う事が多いが、学校は土日閉まってしまうので不便である。



町民のために

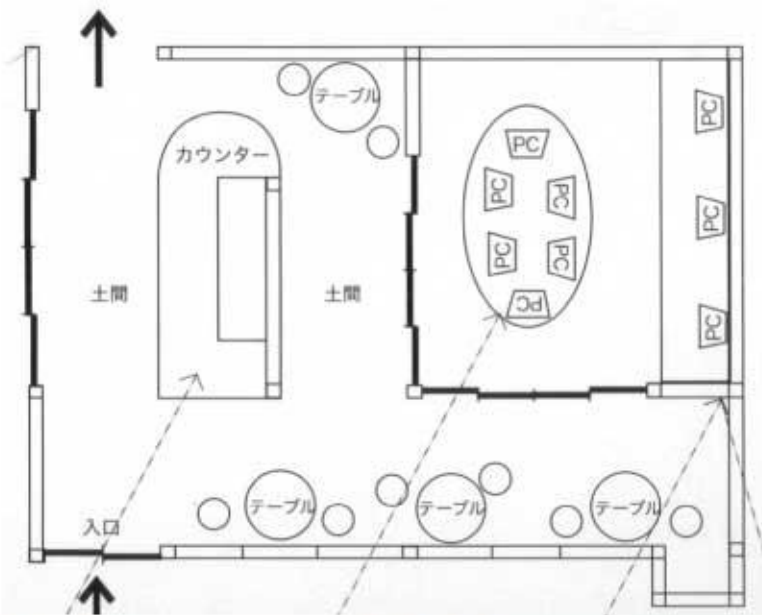
新屋の住民は中高年者が多い。一家に一台パソコンは無いと思うし、使い方がわからないという事も考えられる。初心者でも使えるように、パソコン教室などがあればもっと楽しめるのではないか。

また、Webサイトで新屋の特産物を紹介、販売する事もできる。



土間や白熱灯など民家特有の落ち着いた空間を利用した
インターネットカフェ

美短生はパソコンの先生に、
町民は生活の知恵を教えてくれる先生になる。

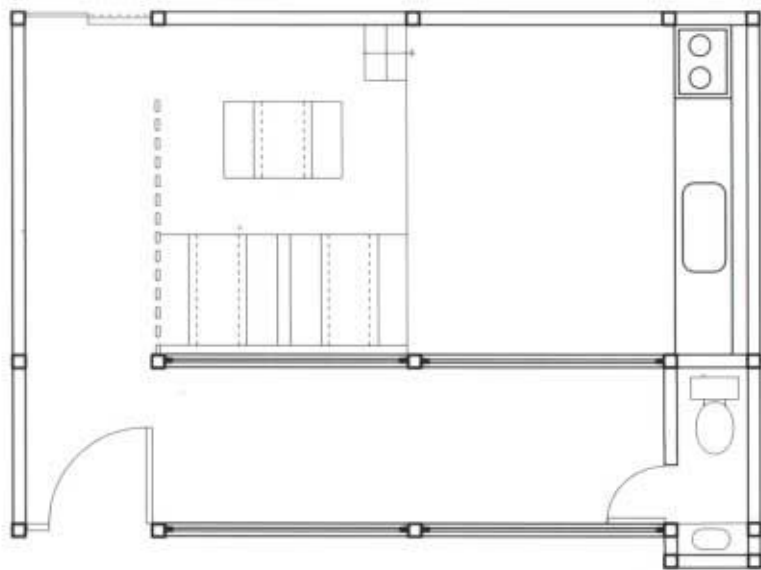


第5課題「かかわる」

発表者

秋田公立美術工芸短期大学 環境デザインコース

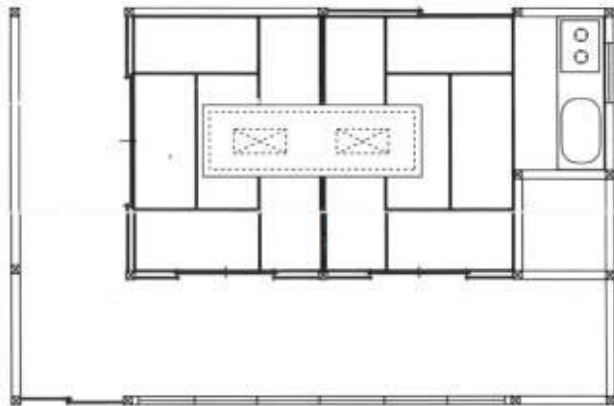
高橋恵



0 1 2 3m



第5課題「かかわる」
その他の作品

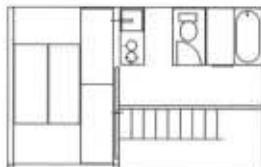


夏は涼しい冷風を、冬は暖かい温風を送ることによって、部屋中の温度も心地よい気温になる。
夏の暑い日に涼みたいとき、冬の寒い日に温まりたいとき、この自然とのご場所に足が向かってしまうような、そんな場所にしたい。そこで集まったことにより、いろんな人とふれあい、人の温もりを感じてほしい。

1F



2F



住所	秋田県秋田市新屋表町
広さ	6畳
家賃	3万
備考	バス・トイレ別 共通玄関 全照明白熱灯
管理人	渡辺ヒロ



用途種別



地域交流室 5

御茶屋 1

歌声喫茶 1

ネットカフェ 1

ギャラリー 1

道の駅 1

賃貸住宅 1

休憩を10分とります。

興味のある方は
「ひろ建築工房」さんを見学してきて下さい。

見学可能範囲

